
学生代表者会議

チーム居心地からの提言

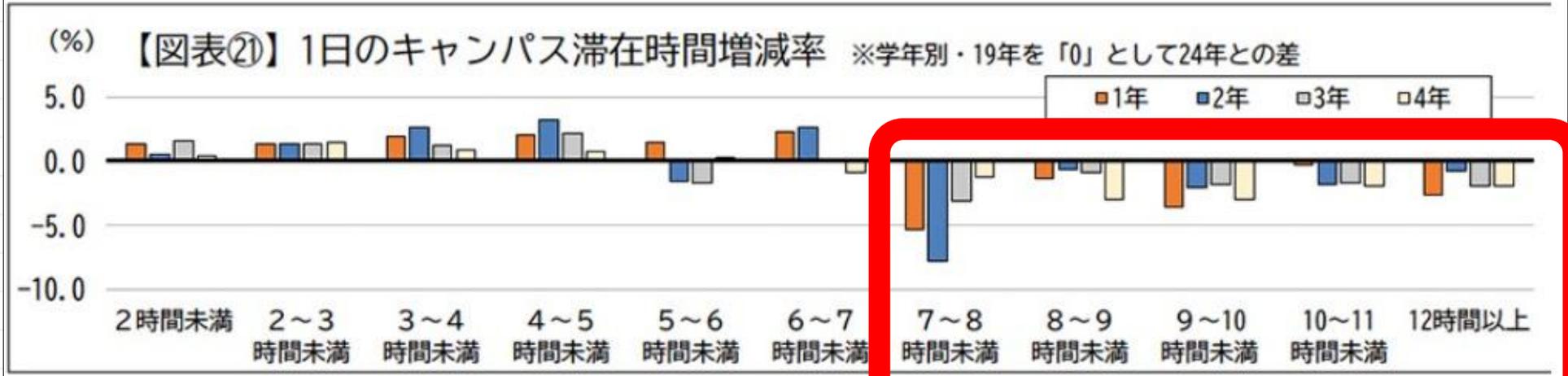
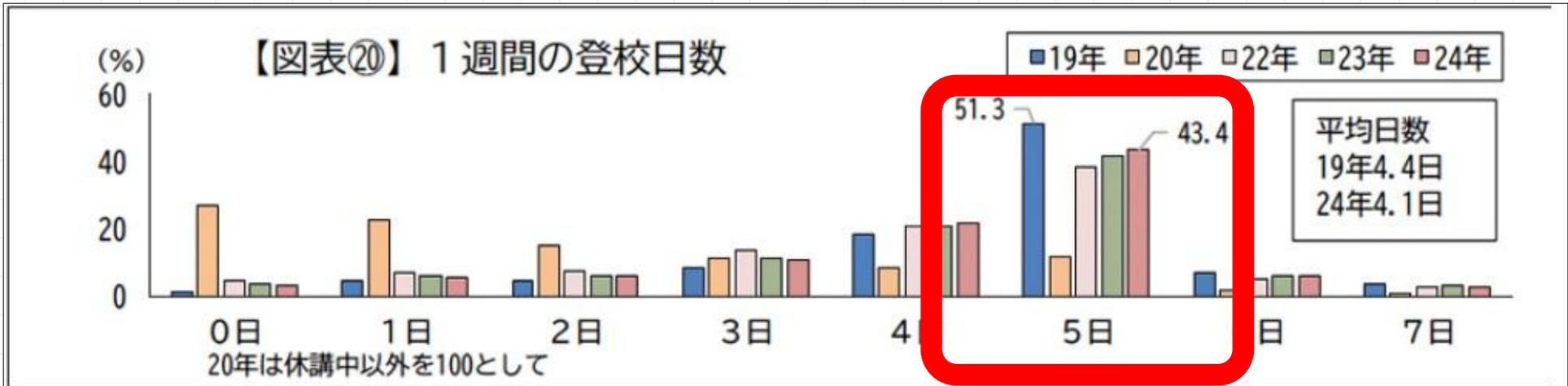
八塚愛里沙、山田悠生、藤原諒、土田ゆめ、
SATYAL KEDAR、三好咲希、川原遥



目次

1. チーム居心地について
2. 空間のアプローチ
 - － ① 空き教室の開放について
 - － ② 図書館1階空きスペースを
学習交流スペース（仮）に
3. 文化・風土のアプローチ
 - － ③ 学生とともに行う
愛媛大学の広報について
 - － ④ 準正課教育の活性化について
4. まとめ

チーム居心地について



引用：[第60回学生生活実態調査 概要報告 | 学生・大学院生・保護者調査の報告 | ビジョンと活動 | 全国大学生生活協同組合連合会\(全国大学生協連\)](#)

チーム居心地について

(%)
60

【図表⑳】 1週間の登校日数

■19年 □20年 □22年 □23年 ■24年

51.3

学生にとって居心地の良いキャンパス・
こんなキャンパスだったらいいなを
空間と文化・風土の面から
アプローチします！

時間未満 時間未満 時間未満 時間未満 時間未満 時間未満 時間未満 時間未満

引用：[第60回学生生活実態調査 概要報告 | 学生・大学院生・保護者調査の報告 | ビジョンと活動 | 全国大学生生活協同組合連合会\(全国大学生協連\)](#)

空間のアプローチ

“お金をかけずに友達とだべれる空間”
= 大学が学生に提供する最も価値あるもの



学生同士の交流が人間を育てるのではないか？

空間のアプローチ

① 学生が活用できるように

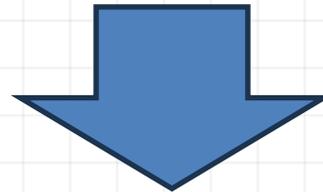
空き教室を開放してほしい！

現状 . . . キャンパス内に学生が自由に
議論・交流できる場所が不足

理想 . . . **学外に移動せずとも、**
空きコマやスキマ時間に
グループで学習・活動したい

空間のアプローチ

- 学生は教室の空き状況が分からない
- 使用するための**手続きが複雑**
- 自由に使用できるのは**お昼休みのみ**



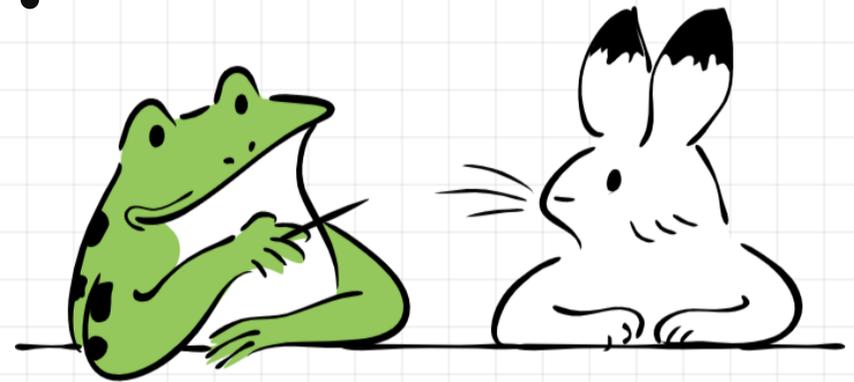
- 学生側がオンラインで教室の空き状況を把握可能に
- 使用するための**手続きを簡略化**
- お昼休み以外も**空いている場合は利用可能に**

空間のアプローチ

② 図書館1階西側空きスペースを

「学習交流スペース（仮）」

としてほしい！



空間のアプローチ

- 掲示ボード（ホワイトボード）を設置し、「おススメの本」や「相談内容」を書き込んで交流
- 教えたい×学びたい
- 学習スペース+飲食スペースとしての機能
- 月に1回イベントを開催
（ビブリオバトル・他学部や他大学の先生の講座など）
- プロジェクターやボードゲーム、自販機を設置

空間のアプローチ

- 掲示ボード（ホワイトボード）を設置し、
「おすすめ本」「相談内容」を書き込んで交流
 - ・ 新しい発見や学校のイベント告知にも関連
- 教えたい×学びたい
 - ・ 授業外の自習スペースに
 - ・ 使わなくなった教科書を集めたコーナーを設置し、他学部の学びにも触れられるように
 - ・ その場に集まった学生同士で分からないところの教え合いや質問をし合うことで、学びあいを実現

空間のアプローチ

○学習スペース+飲食スペースとしての機能

- ・いつもと違う人、環境で食べる新鮮さで交流を促進
- ・パーティションと色々な大きさの机の設置により、多様な人が使いやすいスペースに

○月に1回イベントを開催

- ・運営チームを設置し、イベントを企画

○プロジェクターやボードゲーム、自販機を設置

- ・学生が空き時間にリラックスして過ごせる時間
- ・愛媛大学の緑を眺められる屋内テラス席の開設

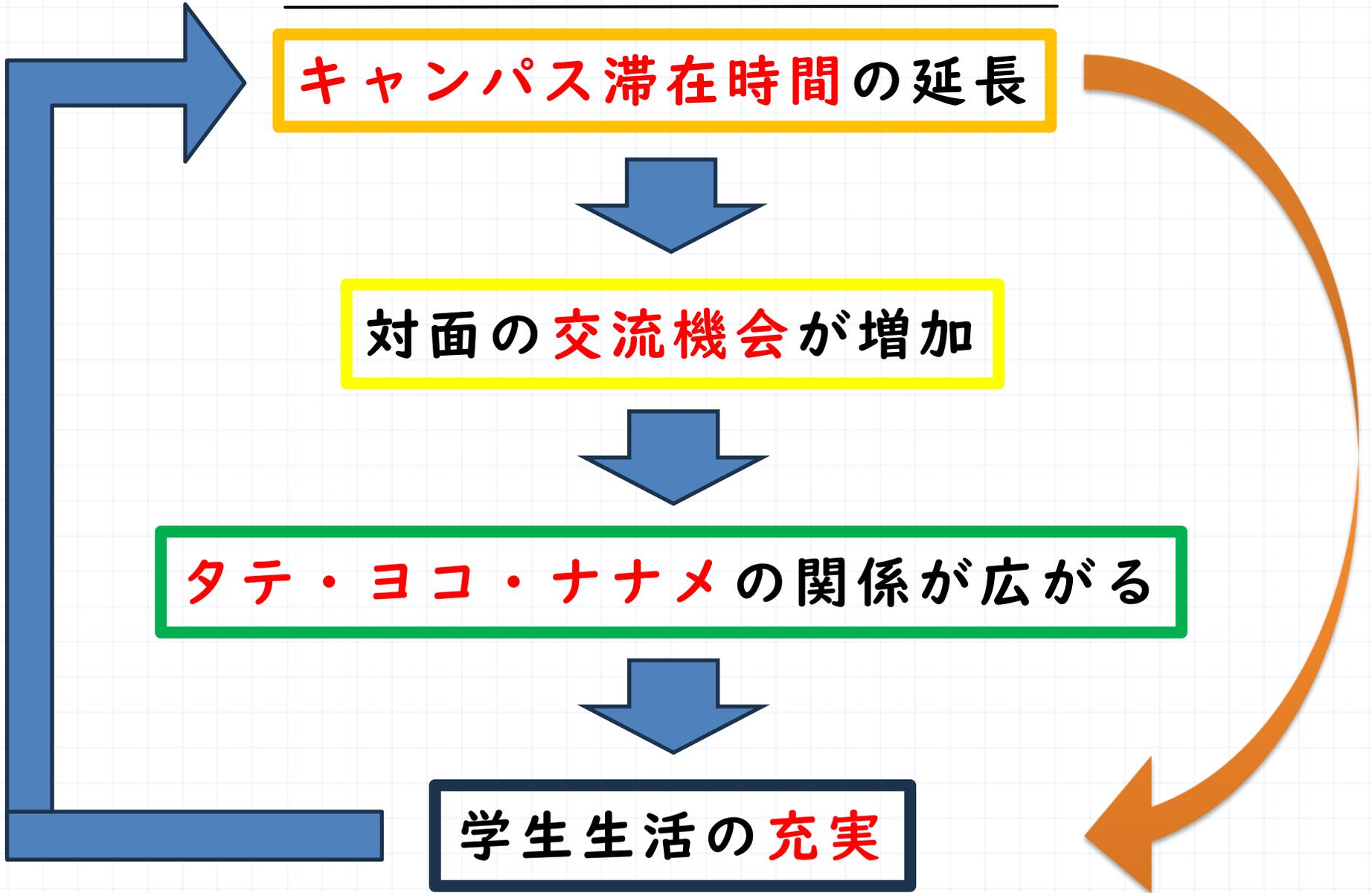
空間のアプローチ

キャンパス滞在時間の延長

対面の交流機会が増加

タテ・ヨコ・ナナメの関係が広がる

学生生活の充実



文化・風土のアプローチ

学生が大学資源を最大限活用し、
学生が“**大学を使いこなす**”大学へ



学生が“**一過性の利用者**”で終わらない
大学の「**人の循環**」が強まる

文化・風土のアプローチ

③ 学生とともに行う 愛媛大学の

魅力発信に力を入れてほしい！

より学生に広く認知される手段で、
学生に刺さるPRができ、学生自身が
愛媛大学の魅力や価値を実感できる！



文化・風土のアプローチ

大学が行う広報活動の取り組みに、
学生有志を募る。

○ **受験生向け**の情報発信

- ・オープンキャンパスの企画運営
- ・広報誌のデザインや内容の考案

○ **在学生向け**の情報発信

- ・大学の施設や制度など、便利な情報を
学生向けに“**使える情報**”として**翻訳**する
- ・先輩の時間割や生活例など、
在学生のリアルな発信で**情報を「自分ごと化」**

文化・風土のアプローチ

④ 準正課教育プログラムの
活性化に力を入れてほしい！

学部（ヨコ）・サークル（タテ）のつながり

+

学部も学年も超えた（ナナメ）のつながり

文化・風土のアプローチ

具体策

○受験生、在學生を対象とした準正課教育プログラムに
ついての説明会や個別相談会の開催

○準正課アラムナイの実施



愛媛大学には多様な準正課教育プログラムが存在するため、それらに横串しを刺すことや卒業生を広く集めることは難しい。教職員、学生一体となって企画を行ってほしい。

まとめ

これらの提言をご検討いただき、
愛媛大学を学生にとって
より **“居心地の良い大学”** としてほしい！

